

特集／蓬萊米(台湾産) 夢美人(夢かほり)

豊作・良質米を5月末に収穫、日本

豊穡の地・嘉南平野特集



▲収穫直前の夢美人(夢かほり)の圃場(5月24日)。2006年産米は被害をもたらすような台風が皆無で、日照も十分だったため高い品質が期待されている。また、収穫が早い(5月末)ため、沖縄から台湾にかけてもたらされた大雨の被害もまったく受けていない

まもなく台湾から新しいブランド米「夢美人」が滋賀のコメ卸・株中島美雄商店を通じて販売される。同社が種子の権利を持つ水稲品種「夢かほり」の種子を台湾へ供給した上で資材供給を含めた栽培指導を現地関係者と連携して実施し、収穫されたコメを日本に逆輸入し「夢美人」として販売する。6月30日には大阪で夢美人販売組織の発足式(次号で詳しく紹介)を実施し、本格的な市場開拓が開始される。資材販売も兼ねる中島美雄商店では、この夢美人の事業を通じて種子の権利から資材販売、現地での指導、輸入販売という一貫したコメ流通事業を確立させようとしている。さらに、産地となる台湾側の行政院(政府)農業委員会(日本の農林水産省)ならびに農糧署(同じく総合食料局に相当)の全面的なバックアップを得られたことで、太い絆を結ぶことになり、夢美人に続く事業にも大きな糧となることは間違いない。台湾は別名「蓬萊の島」と呼ばれ、自然豊かなこの島で育てられたコメは広く「蓬萊米」と呼ばれている。日本とも関係が深い蓬萊米、そのひとつである夢美人の気になる栽培内容と現状での品質などについて紹介する。

栽培

日本のコメづくりに準じた栽培方法の徹底化成功
5月末収穫というスピード活かした販売も可能

2006年産新米収穫の話題が
いち早く飛込んできた。その産地
は台湾南部の台南懸。滋賀のコメ
卸であり、三菱系の民間育種機関

だった(株)植物工学研究所が所有し
ていた種子の権利を引き継いでい
る(株)中島美雄商店が、引き継いだ
品種のひとつである「夢かほり」

(昭和61年育成)の種子を台湾に
持ち込んで現地の生産者に栽培技
術の指導を行う形で生産。これに
台湾行政院農業委員会が全面的に

協力し、集荷・精米商品の指導を
行い、収穫されたコメを蓬萊米
(台湾産) 夢美人として日本に逆
輸入させ、中島美雄商店が窓口と
なって販売する。

▶台南縣後壁郷「夢美人」栽培記録(一部栽培暦の内容を含む)

土づくり	2005年12月18日	コメ糠を1畝あたり1000 ^g 。散布 有機肥料を200 ^g 。投入1畝 ^g 。
粗耕	12月20日	その後中干しを実施
種子の仕入れ	田植え30日前(1月中旬)	(株)中島美雄商店より購入
育苗	田植え21日前(1月下旬)	温湯による種子消毒(60℃に10分浸透)
細耕	2月28日	
雑草防除 ジャンボタニシ防除	2006年2月19日	植物の種子から油を絞った後の粕を 1畝あたり100 ^g 。散布
田植え	2月12日	2月16日に補植
雑草防除	2月21日	薬剤散布、1畝あたり0.5 ^g 。
第1次追肥	2月27日	硫酸を1畝あたり180 ^g 。投入
第2次追肥	3月11日	複合肥料を1畝あたり200 ^g 。投入
病害虫防除	3月29日・4月6日	螟虫(茎の中に食い入るガの幼虫の総称)防除 いもち病防除、原液を1500倍に薄めて散布
中干し		無効分けつ抑制、同時に圃場の乾燥 を促進させて根の発育を促す
穂肥	4月12日(幼穂形成初期) 4月13日	硫酸を1畝あたり8 ^g 。投入 水稲育成錠剤「アミン」1畝あたり200粒 投入 葉をむき、穂が2 ^g となった時点で実施
病害虫防除	4月22日	縞葉枯病と害虫の防除だが、濃度を 3000倍にして散布
出穂期	4月25~30日	田植え後約75日後
灌排水管理	4月下旬~5月上旬	5~10 ^{cm} の水深を維持。十分な登熟を 確保
灌排水管理	5月上旬~中旬	出穂後18日で排水
収穫	5月28~31日	5月28日に夢美人の本格的な収穫を 記念して収穫祭を開催

2006年産夢美人の生産履歴をもとにした作業記録(栽培マニュアルの内容を含む)。極力農薬・化学肥料の使用量を抑え、
食味の向上を図られるように組まれた栽培暦は、夢美人(夢かほり)種子の権利を保有する中島美雄商店が中心となって作成し、
栽培指導も直接行う形になっている

台湾は南国の自然豊かな地であ
り、別名「蓬萊島」と呼ばれ、島
内で生産されたコメも総称して
「蓬萊米」と呼ばれている。日本
で育成され、蓬萊米として生産さ
れた2006年産夢美人は、台南懸
水上郷で97名の登録生産者がトレ
ーサビリティ記録を徹底させる形
で52^{ha}の規模で生産された。その
中の3分の2は日本に向けて輸出
されることになっている。今年の
夢美人は5月末に収穫されたが、
その間は本島に被害を及ぼす台風
もなく、順調な生育となっている。

5月28日には行政院農業委員会
委員長をはじめ、夢美人生産に関
わった多くの関係者を招いて収穫
祭も行われている。この日を含め
た4日間ですべての夢美人は収穫



●圃場の生育状況を撮影した写真で、右上は田植え直後（2月13日撮影）、上は植物活性剤「アミン」散布時点での稲穂（4月13日撮影）、右は出穂期に入った圃場（4月25日撮影）、下が収穫直前を迎えた圃場（5月24日撮影）。大きな病害虫の発生や倒伏による被害はほとんどなく、順調に生育している



作業を終えている。昨年はわずかに2人の生産者が0・8畝で試験的に栽培されていた夢美人が、今年になって多くの生産者が集まって3ヶ所の生産団地（26畝、13畝×2）が産まれるに至ったのは、中島美雄商店が行った日本式の稲作を徹底させることで高い品質が得られることが周知された結果と云っていいだろう。

その基本的な栽培日程・方法は前ページに掲載した表の通りとなっている。特筆すべき点はやはり生育のスピードだろう。2月12日に田植え（補植えを含めると作業は16日まで）を行った夢美人は、5月28日には収穫を迎えている

（台湾では2期作が多いが、夢美人はすべて1期作で生産）。

植物活性剤『アミン』で倒伏皆無の強い稲穂に

さらに、土づくりにコメ糠と有機肥料を活用し、基肥にも有機配合肥料を使うなど有機物主体の施肥設計が組まれ、温湯による種子消毒、油脂分を搾り取った後の種粕を使つての病害虫（ジャンボタニシ）防除など、極力農薬の使用量を抑える栽培が行われている。そして、中島美雄商店が供給している圃場投げ込み式の植物活性剤『アミン』（1粒40g）を出穂40日前に反あたり200個散布している。これは複合アミノ酸（天然酵母エキス、メチオニン）キトサンオリゴ糖、塩化カリウムを主成分とした資材で、稲がもつとも生長する出穂1ヶ月前に使用することで根の張りを促進し、丈夫な稲穂をもたらし、これにより、食味の底上げを図り、安定した品質・量を確保するのが目的だ。

生産者からはアミンの施肥効果について「まず、倒伏が大幅にな



▲収穫直前となった5月24日に撮影した夢美人の稲体。短稈で強靱な株元に成長している

▶こちらは穂の成長を撮影したものの。写真上は出穂期を迎えた4月25日、下は登熟期に入った5月1日時点での穂の写真



くなります。今年のように台風の直撃がない場合は稲体についてはまったく不安材料がなくなります。さらに、アミンと夢美人との組み合わせは、高温障害にも強く、ほかの蓬菜（台湾産）米と比較しても、乳白粒の発生率がかなり低くなる」と話していた。

夢美人（夢かほり）は月の光をプロトプラスト培養（細胞膜を酵素で取り除いた細胞のことで、様々な突然変異が起こるため、その中から育種目的に適合したものを選抜して新品種の育成を行う）で育成された品種で、対倒伏性は極強、短稈・強稈で葉・穂いもち病や縞葉枯病といった主要病害に総じて強いという特徴を持っているが、それはあくまで日本式のコメづくりで生産した場合の話だ。

しかし、昨年生産された夢美人は台湾内でも作付け事例が増えてきたコシヒカリよりも試食分析の結果、夢美人の方が食味が高いという結果がでている。

この良好な結果を得て、今後夢美人はCAS認証米（台湾行政院が積極的に普及させている「中華

▲畦に「蠅翅草」と呼ばれる草を植えた圃場。芝よりさらに短い草丈しかなく、これ以上成長しない。雑草の抑制と根による畦の保全に効果があり、見映えも美しい。



優良農産品証明標章」という資格。CAS良質米は政府推薦の良質なコメがその品種の栽培に適した地域を指定されて栽培され、販売に至るまでの全プロセスで徹底した品質管理が行われている。取得を目指しながら流通することになる。

集荷・管理



株中島美雄商店が台湾産夢美人を輸入して販売する事業では、台湾の行政院農業委員会ならびに農業委員会農糧署（日本の総合食料局に相当）の全面的な協力が得られたことは非常に大きい。だが、それ以上にこのプロジェクトの推



▶台南縣水上郷にある聯發碾米工廠の精米工場（写真上）。そして、夢美人生産にもっとも大きな役割を果たしたのがこの企業の最高経営責任者である陳水盛・負責人だ。写真右は水上郷がある嘉南平原を緑の地に変えた日本人・八田興一技師の像の横に座る陳水盛さん

進役となったのが台湾トップクラスの集荷・調製・精米機能を持つ精米企業だ。

夢美人栽培と日本に向けた販売に工場の存亡をかけて取り組んだのは、台南縣水上郷に精米工場兼ライスセンターを持つ聯發碾米工廠だ。同社は東洋精米機製作所製の精米機（処理能力毎時4ト）やサタケ製研米機（同3ト）、大型色彩選別機グレイン・カラー・ソーター（RMGS280AIS）、処理能力毎時3・6トといった日本製の近代的な精米設備を持つが、夢美人にとってもっとも大きな存在となったのは、この精米工場のCEO（最高経営責任者）である陳水盛・負責人だっただろう。

今回の取材では、夢美人に精米工場の存亡をかけた背景について陳氏から直接聞くことができた。「この周辺で主力品種として生産されているのは台南11号という新

CAS（行政院農業委員会）認証精米工場
聯發碾米工廠が指導から精米まで行なう



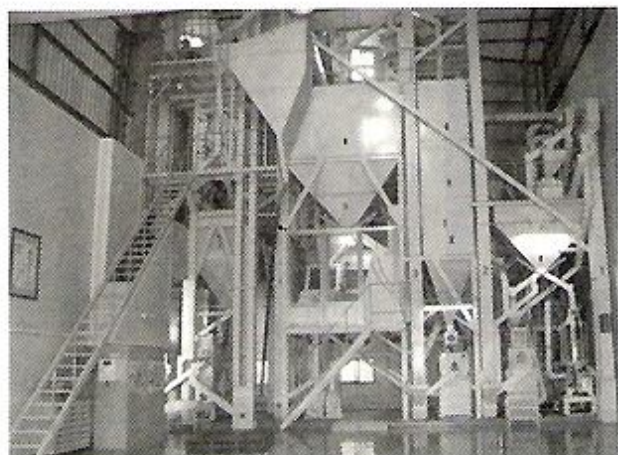
▶精米工場内に掲げられた大看板



▲聯發碾米工廠のスタッフと、8班ある生産者グループの班長

しい品種ですが、この品種が短時間で作付けが拡大した最大の理由は多収であるという点です。ここでのコメ集荷は重量につき設定された金額をかけるだけ。つまり、食味に関係なく収量が多ければ収入になります。生産者も収量を追う栽培方法となってしまう。それでは品質の向上にはつながらない。私が夢美人に取り組もうとした最大の理由は、提携した中島美雄商店を通じて日本で行なわれている食味重視のコメづくりをこの地で広げていきたいからです。将来、それがコメ産地として生き残

る素材となることを信じています。しかし、この取り組みを実行に



●完璧なまでに清掃が行き届いた精米ライン。主な設備は日本製で、とくに色彩選別機の充実が図られており、大型選別機とサタケのグレインカラーソーター（写真下）を並列して設置し、選別能力の向上が図られている

移すまでに伴ったリスクは非常に大きなものだった。一般米の購入価格でもっとも金額が高い相場を基準とし、夢美人はさらに6・6%の加算を実施、さらに栽培基準に盛り込まれている肥料を無償で提供、生産者が苗を購入する場合も半分を助成するなど、破格の条件設定とした。「今年の夢美人は天候条件がよくて豊作となりそうだが、それでも調製前ベースでの反収は13俵、対して台南11号は18俵になります。このくらいのリスクを覚悟して報いないと、もっと大きな賭けをしている生産者に



▲乾燥機も十分な処理能力を持たせている





▲聯發碾米工廠の独自ブランド「上水米」。すでに台梗2号と台梗71号がCAS良質米に認定されており、夢美人も認定を予定している

は理解されないでしょう」（陳水盛 盛負責人）

聯發碾米工廠はCAS認定工場（行政院農業委員会が高品質米生産の拠点として指定・指導する精米工場）であり、CAS良質米の集荷・精米を行なう一方で、収容能力5,000トンを持つ倉庫は政府備蓄倉庫にもなっている。昨年は台湾全土で300ヶ所ある政府備蓄倉庫の中で衛生管理・品質管理・営業成績すべての実績でトップを獲得している。清潔で管理の行き届いた精米工場から供給した商品はただひとつ、蓬莱米と呼ばれる台湾産米の中でもっとも品質の高いコメだと陳負責人は語る。そのため導入したのが夢美人であり、その指導を経て得られるのが日本式のコメづくりなのだ。この取り組みには地元元の農会（農協）も理解し、生産者のとりまとめなどの面でバックアップしている。台湾では、精米設備を持つ聯發碾米工廠や農会が直接量販店や小売店へ商品を供給しているため、日本の集荷業者と農協というようなライバル関係にあるとも



▲左側が夢美人（夢かほり）、右が水上郷でもっとも作付けが多い台南11号。夢美人が短稈であることが一目でわかる

いえる。その両者がこれまで協力しあい、聯發碾米工廠がCAS認定工場として機能してきた背景は「ともに生産するコメの品質を向上させたい」という考えがあったからだろう。聯發碾米工廠を取り巻くこうした環境がなければ、夢美人を日本で販売する事業は成り立たなかったと言っている。

ここで集荷された夢美人は、全体の3分の2を日本向けに、残りを同社が台湾内で販売する。日本向けでは中島美雄商店がすでに

万戸の家庭会員から注文を受けており、夢美人の里帰りを待ち構えている。一方、残りの3分の1は聯發碾米工廠の独自ブランドであり、百貨店を中心に販売が行なわれている「上水米」として販売が予定されている。今後の栽培規模拡大が望まれるが、中島美雄商店が2006年産の栽培目標30万を大幅に上回る52万での生産が実現していることを考えると、来年度の栽培目標100万達成も難しくはない情勢だ。

産地



豊穰の地・嘉南平野物語

夢美人の産地となった台南縣は、台湾島南部の嘉南平野の真ん中に位置する。広大な圃場が広がる穀倉地帯となっている嘉南平野は、北回歸線が通り、そのすぐ近くに水上郷がある。世界的にも北回歸線を挟んで南北30°は気候的に農作物を作るのに適した気候となっており、稲作のほかに野菜や果物の産地としても有名な豊穰の地となっている。



●夢美人の産地となった台南縣水上郷は、北回歸線のすぐそばにある。隣の嘉義県にまたがる広大な嘉南平野の真ん中にある。写真上はこの地を豊穰の地に変えた水路

つと洪水を繰り返し、とても農地として開拓できる地域ではなかった。その姿を劇的に変えるきっかけとなったのは、この地にひとり日本人技師が赴任したことに始まる。台湾が日本の統治下にあった明治43年、当時の台湾總督府内務局土木課に25歳の若さで土木技師として勤務した八田興一技師が28歳の時にこの地で巨大な水利事業の責任者となったことが、嘉南平野を豊かな農地へと変えることになる。

八田興一技師は烏頭山水庫と呼ばれる有効貯水量1億5,000万立方尺の巨大な貯水池を建設し、嘉義・台南懸にまたがる南北110km、東西71kmの嘉南平野を潤す嘉南大圳(大規模な灌漑用水路)を整備して、15万haの大地を豊かな農地へと変えた。昭和5年に当時東洋一の規模となるダムを備えた烏頭山水庫が完成し、それを水源とした嘉南大圳が平野全体

▲水上郷にある北回歸線通過点を示す指標(北回歸線太陽館)。内部は天文資料館になっている



に整備された。水路の総延長は1万6,000kmにおよび、世界でも例を見ない巨大な事業として世

界中に知られる存在となっている。

日本人が作り上げた 圃場で夢美人も生産

この大事業を成し遂げた八田技師はその後アジア各地を回って



●日本の台湾統治時代に完成した当時東洋一の規模を誇った烏山頭水庫とダム施設(写真上)。日本人・八田興一技師(写真左は湖畔にある八田技師の像)が生涯をかけて作り上げたこの施設は昭和5年に完成、嘉南平野を豊かな大地へと変える原動力になった。

水利事業に従事したが、昭和17年5月8日に五島列島付近で乗船していた船がアメリカの潜水艦によって撃沈され、57歳の生涯を終えている。台湾の人々はこの偉業を忘れないために烏山頭水庫の湖畔に八田技師の墓と銅像を建て、この開拓事業の資料を集めた八田技師記念館も開設している。

洪水を繰り返していた嘉南平野はもともとは肥沃な大地であり、北回歸線に近いことでの良好な気候条件も重なっていることもあつ



て、水利条件をクリアした後は短時間で果物・野菜・コメなど幅広い農産物の良質な産地となった。この地での夢美人生産は、台風被害が集中する時期を避けて収穫できること、土壌条件が良いことで、これまで食味の高い品質に仕上がっている。

気になるのは高温による品質の低下だが、栽培中の積算温度をみると日本とは大きく異なる点がある。それは、最高気温を記録する前に夢美人は収穫されることだ。

夢美人の生産に携わる生産者の一人も「たしかに高温障害による乳白の発生は少ないですね。この地域で7、8の作付けを占める台南11号は夢美人よりかなり収穫が遅いので、倒伏や高温障害のリスクが高くなります。品質重視の稲作に転換していけば、夢美人の栽培特性は必ずプラスとなると思いますが」と話している。

日本製車輛を使った 台湾版新幹線も開業

歴史的に日本との関係が深い嘉南地域だが、さらにその絆を深め

◀夢美人が栽培されている圃場も、八田興一技師が整備した嘉南大(灌溉用水)の恩恵を受けている



ることになるのが台湾版新幹線(台湾高速鉄道)だ。まもなく開業する新鉄道は台北と高雄間345kmをわずか90分で結ぶことになり、日本の東海道・山陽新幹線で使用されている車輛(700系)が海外で初めて採用されることになっていく。

CAS

台湾行政院が高品質商品であることを認証した商品 その商品を作り出す精米工場を認定工場として指導

台湾政府が積極的に普及させた「中華優良農産品證明標章」という資格で Certified Agriculture Standard の略称。農業専門家が台湾の気候・風土・食味の好みなどから選定した優良品種を採用し、台湾政府による指導の下、品



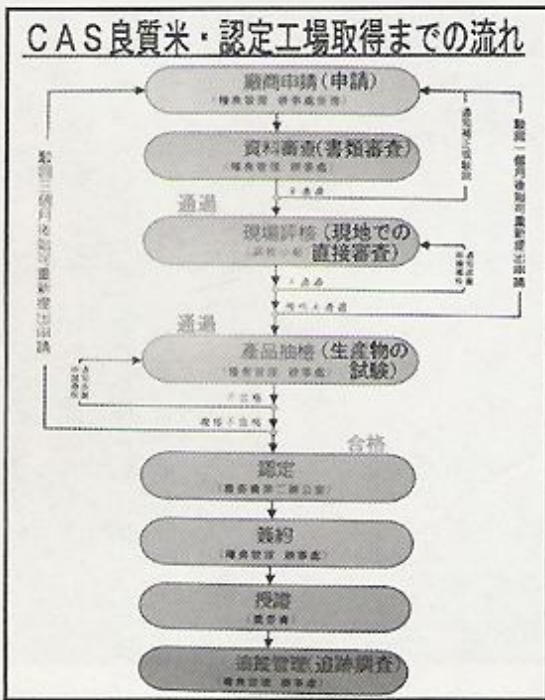
▶台湾行政院農業委員会指導の下で生産された高品質米であることを示すCAS良質米のマークとロゴ

種ごとに適した地域で栽培されたもの。農協や業者が

稲作農家と契約生産を行い、先進的な田畑管理が採用されている上、政府側でも定期的に灌漑・排水施設の改善方法や施肥技術・病害虫の防止法などの指導も行い、常に栽培技術向上を目指している。収穫後は精

米・選別・自動計量包装に至るまで一貫した作業基準が定められ、品質管理が徹底されている。それだけに認証に至るまでの審査は厳しく(右下図参照)、合格後の指導も常に行われる。そのため、消費者の手元に届くまでの全プロセスで不断に行われる品質管理徹底もCASの特徴となっている。包装方法にも管理が徹底されて

◀CASの認証は厳しい審査に加えて、合格・認定後も常に指導・監督が行われる



おり、農業委員会農糧署による「台湾好米」というロゴのデザインを統一して採用することで、消費者が購入の際に選択しやすいよう配慮されている。また、真空包装を採用することで、生産過程で実現された優れた品質を維持できるように細心の配慮も施されているのがCAS良質米だ。蓬萊(台湾産)米として日本に輸出されることメとして認められるためにはこの

◀聯發碾米工廠は、CAS認証精米工場であり、台湾全土で300ヶ所ある政府指定倉庫のなかでもっとも高い管理・営業成績を誇っている

民國93年 米廠轉型「上水」與後壁鄉農民契作生產良質米

§ 全國公糧委託倉庫暨白米加工廠各項評比結果：

- ・環境衛生管理第一名
- ・自主品質管理第一名
- ・綜合考核評比第一名

§ 榮獲CAS良質米工廠認證

- ・全國第一家以新制CAS無毒害認證

§ 榮獲小包裝良質米食味評鑑最高

- ・93年高雄農改場主辦

民國94年 建置稻米產銷專業區

§ 榮獲農委會推薦為台梗2號代表廠商

- ・94年台北國際食品展

§ 首創台日「夢美人」稻米產銷合作

- ・與日本(株)中島美雄商店合作



CAS良質米認定は欠かせない要素になり、新たな試みとなっていく夢美人もこの認証を目指すことになるのは間違いない。